

令和6年度  
第71回  
鹿児島県母子寡婦福祉研修大会



妙円寺詣り武者行列



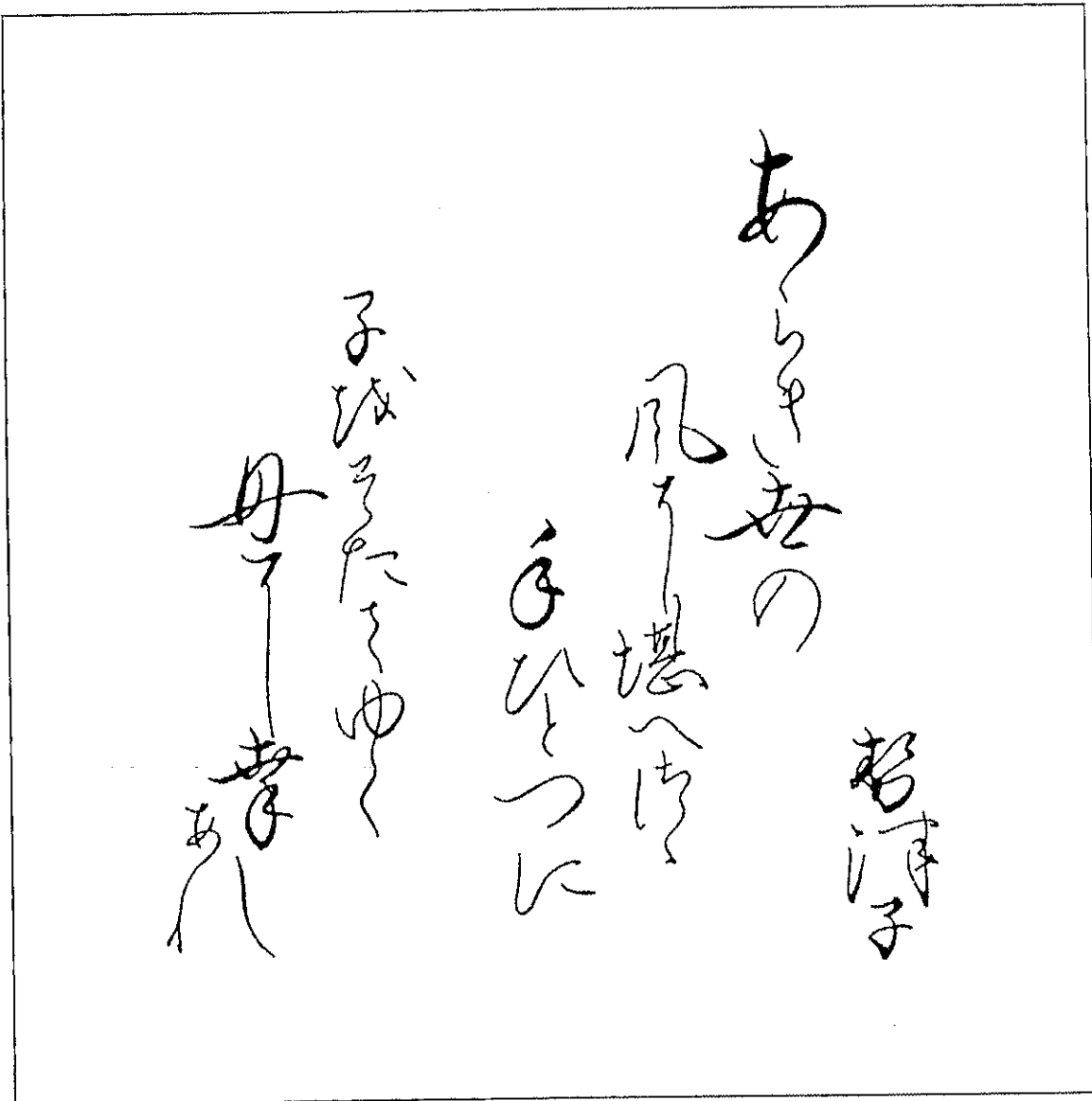
伊作太鼓踊り



島津義弘像 (伊集院)

◎日 時／令和6年9月3日(火) 午前10時30分～  
◎会 場／鹿児島市民文化ホール(第2ホール)

主催 社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会



# 母に幸あれ

秩父宮妃 御歌  
服部 正 曲

あ ら きよ の か ぜ に た-え- つ つ  
 て ひ と つ に こ を そ だ て ゆ く は は  
 に さ ち あ- れ は は に さ ち あ れ

秩父宮妃殿下御歌  
 昭和35年11月28日、日比谷公会堂において、皇后陛下、秩父宮妃殿下の御台臨を仰いで、創立10周年記念全国母子寡婦福祉大会を開催した際に、秩父宮妃殿下から、母子家庭を励ます御歌として下賜されました。

大会スローガン

つなごう人の輪、守ろう地域の輪

## 目 次

◇第 71 回 鹿児島県母子寡婦福祉研修大会要綱 .....	2 頁
◇プログラム .....	3 頁
◇表 彰 .....	4 頁
◇体験発表 .....	5 頁
◇トーク & 演奏 .....	6 頁
◇申し合わせ (案) .....	7 頁
◇決 議 (案) .....	8 頁

### オープニング

～日置地区紹介 DVD の放映～

☆日置地区の教育・観光・歴史スポットを紹介

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# 第71回 鹿児島県母子寡婦福祉研修大会 開催要綱

## 1 趣 旨

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行して日常生活は落ち着いてきたものの、昨今の世界情勢の変化等による諸物価高騰の波を受け、経済的基盤の弱いひとり親家庭や寡婦を取り巻く環境は厳しさの一途をたどっています。

このような中、ひとり親家庭及び寡婦が安全に暮らし、自立した生活を得て、安心して子どもを育てることができる社会を実現するためには、お互いに協力し合い、人や地域の絆を深め、様々な課題解決に向けた積極的な取り組みや活動が求められています。

そのため、ここに県内の母子寡婦福祉団体及び関係者が一堂に会し、母子寡婦福祉団体の社会的意義、役割を再確認し、令和を担う子ども達が自立して社会で活躍できる環境を整え、孤立の解消やひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上と更なる充実強化を図ることを目的とし、この大会を開催します。

## 大会テーマ 「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

- 目指そう自立、活かそう支援策 —
- 母子と寡婦、共に育む子どもの未来 —
- すべての子どもに安心と希望を！ —

2 主 催 社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会

3 後 援 鹿児島県・鹿児島県社会福祉協議会

4 日 時 令和6年9月3日(火) 午前10時30分～午後2時30分

5 会 場 鹿児島市民文化ホール(第2ホール)

鹿児島市与次郎2丁目3-1

電話 099-257-8111

6 参加者 県内母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦  
その他母子寡婦福祉行政・関係者 約500名

## 7 大会事務局

- (1) 住 所 〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 県社会福祉センター内
- (2) 電 話 099-258-2984
- (3) FAX 099-296-8123
- (4) E-mail kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp

# 令和6年度 第71回 鹿児島県母子寡婦福祉研修大会プログラム

担当地区 日置地区

開催日 令和6年9月3日(火)

場 所 鹿児島市民文化ホール

- (受付) 9:30～(BGM)
- (オープニング) 10:00～10:25(日置地区紹介DVD放映)
- 1 開会式 10:30～ 司会 川上 長子(日置地区)
- (1) 開会のことば 日置地区母子寡婦福祉会 大西 美保(日置地区)
- (2) 秩父宮妃殿下御歌
- (3) 黙 禱
- (4) 主催者挨拶  
社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会  
理事長 久保 郁子
- (5) 表 彰
- (6) 来賓祝辞  
鹿児島県知事 塩田 康一  
鹿児島県議会議長 松里 保廣  
鹿児島県社会福祉協議会会長 布袋 嘉之
- (7) 来賓紹介
- (8) 祝電披露
- 2 体験発表
- ① 「母子会に入ってよかった」 船倉 百合子(日置地区)
- ② 「ご縁に恵まれて」 重信 悦子(日置地区)
- 講 評 鹿児島県くらし保健福祉部子ども福祉課長 水溜 義仁
- 3 新規事業「ひとり親家庭支援事業」について  
昼 食 12:00～13:00(日置地区紹介DVD放映)
- 4 トーク&演奏 13:00～14:00  
タイトル 「わたしの選んだ生き方ー邦楽」  
講 師 加藤流 三絃道 藤秋会 加藤兄弟 他
- 5 申し合わせ・決議 14:00～14:20  
(1) 申し合わせ(案) 前田 満子(日置地区)  
(2) 決 議(案) 牧之角 八重子(日置地区)
- 6 閉会式 14:20～14:30  
(1) 鹿児島県母子会の歌 斉唱  
(2) 閉会のことば 大迫 郁子(肝属地区)



## 表 彰 者



### 令和6年度 第71回 表彰者

種別	市町村名	支 部 名	氏 名 (会長等)	在任期間
感謝状	鹿児島市	鹿児島	原 田 弘 子	6
功績	平成30年5月より令和6年5月まで大所帯の鹿児島市母子寡婦会をまとめてこられた。特にコロナ禍の中、いろいろなイベントに尽力された。			
感謝状	喜界町	喜 界	島 崎 久 代	8
功績	平成23年5月より平成30年5月まで喜界町母子寡婦福祉会のため會員の声をもとに活動され、今日の継承に尽力された。			

### MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

# 体 験 発 表

## 1 「母子会に入ってよかった」

発表者 船倉 百合子 (日置市日吉町会員)

MEMO

## 2 「ご縁に恵まれて」

発表者 重信 悦子 (日置市東市来町会員)

MEMO

## 3 講 評

鹿児島県子ども福祉課長 水溜 義仁



## トーク & 演奏



講 師 加藤流 三絃道 藤秋会 加藤兄弟 他

演 題 「わたしの選んだ生き方ー邦楽」

### 《プロフィール》

- 1 加藤 訓平 (カトウ サトツネ)
  - ・ 1993年 鹿児島県日置市伊集院町生まれ
  - ・ 18歳 高校卒業の頃、津軽三味線と出会う。
  - ・ 同年 藤秋会家元 加藤 訓 (カトウ サトシ) 師に師事。
  - ・ キャリアわずか7年 第9回秋田民謡全国大会三味線の部で優勝
  - ・ その後、五木ひろし氏、細川たかし氏、川中美幸氏などの演歌界の大御所との共演を多数経験。
  
- 2 加藤 訓焔 (カトウ サトコウ)
  - ・ 1995年 鹿児島県日置市伊集院町生まれ
  - ・ 7歳の頃、津軽三味線と出会う。
  - ・ 加藤流三絃道藤秋会家元 加藤 訓 (カトウ サトシ) 師に師事。
  - ・ 第6回秋田民謡全国大会三味線の部で優勝
  - ・ 第3回 津軽三味線全国大会 in 倉敷 一般男性の部 優勝
  - ・ 第63回 郷土民謡民舞全国大会 三味線グランプリの部 優勝
  - ・ 五木ひろし氏、川中美幸氏、細川たかし氏などの演歌界の大御所との共演を多数経験。
  
- 3 河埜 佑都 (カワノ ユウト)
  - ・ 2003年 宮崎県日向市生まれ
  - ・ 祖母の影響で、2歳より民謡を始める。3歳初舞台
  - ・ 宮崎県すべての大会、少年少女の部で優勝経験を持つ。
  - ・ 2008年 民謡を故白石幸夫氏に師事。
  - ・ 2013年 三味線を藤本秀瑞氏に師事。
  - ・ 2020年 ひえちぎり唄全国大会総合優勝
  - ・ 2022年 鹿児島大学進学。
  - ・ 2023年 日本郷土民謡協会南九州連合大会 尺八グランプリ、民謡グランプリ受賞。10月内閣総理大臣杯に出場。
  - ・ 現在、尺八を菊池河山師に師事。



## 申し合わせ（案）

私たちは、本大会の開催にあたり、ひとり親家庭及び寡婦の現状を認識し、その生活の安定と向上のために組織として果たすべき役割を確かめました。

課題としては、社会情勢の悪化により、非正規雇用が多いひとり親家庭に対し、困窮するひとり親及びその子どもには、引き続き厳しい生活を強いられる状況にあります。

このような状況の中、多くの地域では、生活基盤となる食糧支援のための食材配布や子ども食堂などの取り組みが活発化しています。

ここに、私たち関係機関の一層の理解と協力を得ながら、団体としての社会的な意義と役割について認識を深め、ひとり親家庭及び寡婦の暮らしの改善のためにともに手を携え、地域社会に貢献する団体として総力をあげてひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上のために努力することを宣言します。

令和6年9月3日

令和6年度第71回鹿児島県母子寡婦福祉研修大会 参加者一同

# 決 議 (案)

令和6年度第71回鹿児島県母子寡婦福祉研修大会にあたり、ひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を図るため、次の事項を決議し、その実現を国及び関係機関に強く要望します。

## 記

- 1 「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、雇用の拡大が図られるよう積極的に正規雇用施策を講じられるとともに、非正規雇用者の同一労働同一賃金が徹底されるよう要望します。
- 1 養育費の不払いにより困窮に陥りやすい母子世帯が多い現状において、法定養育費などによる支援体制が円滑に運用されるなど、引き続き養育費の支払い履行を確実なものとする制度づくりを要望します。
- 1 共同親権については、共同親権が望ましいケースと単独親権の方がよい場合などの基準・運用など、子どもの利益を最優先に支援体制を整備いただくよう要望します。
- 1 「ひとり親家庭及び寡婦の医療費助成制度」については、自己負担額や助成内容が居住地にかかわらず格差のないものとなるよう、国による新たな助成制度の創設を要望します。
- 1 ひとり親家庭が安心して子育てと就業の両立ができるよう、公営住宅等への優先入居を確実なものにするなどの環境づくりの充実を要望します。
- 1 自動販売機の設置や売店の運営管理については、「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、優先して母子・父子寡婦福祉団体に発注されるよう要望します。又事業主に対しても特別措置法の周知、発注の働きかけをいただきますよう要望します。

令和6年9月3日

令和6年度第71回 鹿児島県母子寡婦福祉研修大会 参加者一同

# 鹿児島県母子会の歌

作詞 岩切 徳兵衛  
作曲 池田 安 克

一 南の空に きらきらと

幸せまねく いのち星

心やさしく あたたかく

またたきながら 生きようよ

ああ鹿児島の 母子の会

二 はげまし合って きらきらと

みんな働く ちから星

手に手を組んで 精いっぱい

かがやきながら 生きようよ

ああ鹿児島の 母子の会

三 ふくらむ胸に きらきらと

色とりどりの のぞみ星

うた声清く ほがらかに

きらめきながら 生きようよ

ああ鹿児島の 母子の会





日吉せつとべ



湯之元馬頭観音馬踊り



吹上千本楠



ぶどう狩り



いちご